

# リニューアル

加藤 誓 (ちかい)

台所のスイッチがバカになった。我が家で電気のスイッチが最初にバカになったのは、5年前のトイレの所である。つけたり、消したりの回数の多いところから寿命が来るようだ。このマンションも早いもので築19年となる。台所のスイッチは永い間良く頑張ったとも言える。スイッチの工事は、如何に簡単でも、資格を持った電気屋さんにしてもらわないといけない法律になっている。トイレの時と同じ電気屋さんをお願いし、リニューアルしてもらった。台所のバカになったスイッチ部品には、「松下電工」と書いてあり、交換した新しいスイッチには「Panasonic」となっていた。



「松下電工」が懐かしく調べてみたら「ナショナル」も同時に「Panasonic」と社名変更（リニューアル）をして既に13年が経っていることを知った。そこで我が家の同社製品を調べてみた。

マンションの「乾燥機付きバスルームユニット」は19年前で（松下電工）、「マッサージ機」が17年前で（National）、「冷蔵庫」は10年前で（Panasonic）、テレビとブルーレイは8年前（Panasonic）であった。マッサージ機をはじめ、これらの製品は故障もなく毎日よく頑張っており、今のところリニューアルの必要はないようだ。立派なものだ。



蛍光灯を除く電球もLEDではないが、全てリニューアルし私の寿命よりは長く持つと思う。故障ではないのにリニューアルした例はNECのパソコンである。デスクトップ2台とノートパソコン1台がHDDタイプで仕事のスピードが遅く我慢できず、3台ともスピードの速いSSDタイプに取り換え、リニューアルしたことに満足をしている。



ところで、将来自分も困るため、どうしてもリニューアルしたいものがある。女房の膝である。3B体操の師範の資格をとり、スイッチより遥かに永い30年近く先生をして無理に曲げたり伸ばしたりしてきたためか、最近痛みがひどくO脚になってきた。人工関節は本人が嫌っており、何とかそれ以外のリニューアルが出来ないものかと。

話は変わり、私自分のリニューアルしたいところをあげてみる。

故障とまではなっていないパソコンの例と勝手に思っているが、まず、地下鉄の階段がスムーズに登れ、そしてゴルフの飛距離が回復する手足腰の筋力。それから、脂肪のない新しい肝臓と血管。以前のような髪の毛の色と太さと本数、よく聞こえる耳、それと濃い眉毛、死斑のない、たるみのない顔と皮膚。物覚えと記憶の良い脳、それ以外も上げたらきりが無い。

テレビをみながらつまらない物思いにふけていたら、

「SECエレベーターの商業的」こまどり姉妹

「私たちもリニューアルしてもらおうかしら！」

具志堅用高 「いやっ！ それは？」

.....

